

令和 7 年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成 17 年 2 月 25 日

所在地 : 豊中市中桜塚 2 丁目 9 番 24 号

代表者 : 理事長 武内慎吾

法 人 概 要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長 吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長 豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のばたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長 吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長 土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更	
	「のばたけ保育園」定員 160 名に変更	
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長 村上美香
平成 27 年 9 月	「のばたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長 奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更	
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のばたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更	
令和 5 年 4 月	「のばたけマミー保育園」施設長変更	園長 長橋佳子
令和 7 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長 安家比呂志

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

認定こども園 さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：長橋 佳子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



法 人 報 告

今年度は、さくらづか保育園の駐車場が急遽使用できなくなるという想定外の事象が発生し、近隣物件の購入および駐車場造成を行う必要があった。しかしながら、拠点別資金収支としては最小限の赤字に抑えることができ、適切に対応することができた。

また、のばたけ保育園およびのばたけマミー保育園については、いずれも良好な運営状態であったといえる。

法人全体の経営面については、経常増減差額率 8.3%（大阪府保育事業平均 6.3%）、流動比率 356.2%（同 270.2%）、純資産比率 74.7%（同 83.2%）、固定長期適合率 81.5%（同 90.0%）、人件費比率 70.7%（同 71.0%）であり、各指標から見ても概ね安定した経営状態を維持することができた。

※（ ）内は令和 6 年度大阪府保育事業平均値

※社会福祉法人の経営指標については巻末参照

地域貢献活動については、園庭開放、一時保育事業、各種サークル等の園内活動、ならびに自治会活動等について、例年通り継続して実施することができた。

1. 理事会・評議員会等開催状況

日 付	会 議 名	主な決議内容
令和7年6月3日	第1回 理事会	令和6年度事業報告・決算、令和7年度補正予算、役員・評議員の提案、評議員選任・解任委員会の開催、就業規則の改定、契約関係
令和7年6月25日	第1回 定時評議員会	令和6年度決算、令和7年度補正予算、役員の選任
	第2回 理事会	理事長および業務執行理事の選定、前理事長の退職慰労金
令和7年8月20日	第3回 理事会	「さくらづか保育園」隣地物件の取得、補正予算
令和7年9月24日	第4回 理事会	契約関係、銀行融資および担保、補正予算
	第2回 評議員会	補正予算
	第3回 評議員会	
令和8年3月26日	第5回 理事会	契約関係、定款変更、規程の改定・制定、令和7年度補正予算、重要な人事、就業規則・運営規程の改定、令和8年度事業計画・予算
	第4回 評議員会	定款変更、令和7年度補正予算、令和8年度事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日 付	会 議 名	主 な 内 容
令和7年5月2日	第1回 施設長会議	理事会提出議案内容の確認
令和7年5月23日	第1回 運営会議 (オンライン)	理事会前打合せ
令和7年12月10日	第2回 施設長会議	各施設の運営状況確認、理事会提出議案内容の確認
令和8年3月23日	第2回 運営会議	理事会前打合せ

各施設報告

【認定こども園 さくらづか保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月					
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15					
	1歳児	24		24		24		24		24		24					
	2歳児	24		24		24		24		24		24					
小計(0～2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0				
2号	3歳児	26		26		26		26		26		26					
	4歳児	24		26		26		26		26		26					
	5歳児	27		27		27		27		27		27					
1号	満3歳児																
	3歳児	1		1		1		1		1		1					
	4歳児	2		2		2		2		2		2					
	5歳児	1		1		1		1		1		1					
小計(3～5歳児)		81	0	83	0	83	0	83	0	83	0	83	0				
合計		144	0	146	0	146	0	146	0	146	0	146	0				

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・他市 合計	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15		180	0	180	
	1歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
	2歳児	24		24		24		24		24		24		288	0	288	
小計(0～2歳児)		63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	63	0	756	0	756	
2号	3歳児	26		26		26		26		25		25		310	0	310	
	4歳児	26		26		26		26		26		26		310	0	310	2・3号合計
	5歳児	27		27		26		25		25		25		317	0	317	1,693
1号	満3歳児													0	0	0	1号合計
	3歳児	1		1		1		1		2		2		14	0	14	53
	4歳児	2		2		2		2		2		2		24	0	24	全児月平均 (市内)
	5歳児	1		1		1		2		2		2		15	0	15	146
小計(3～5歳児)		83	0	83	0	82	0	82	0	82	0	82	0	990	0	990	3歳児以上の 月平均 (市内)
合計		146	0	146	0	145	0	145	0	145	0	145	0	1,746	0	1,746	83

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ99名(5.7%)

職員数：

種別	園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	助保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	2名	1名	23名	—	—	1名	1名	—	—
非常勤	—	—	—	16名	3名	2名	—	2名	1名	2名
合計	1名	2名	1名	39名	3名	2名	1名	3名	1名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1名	1名	1名	1名	1名	5名

第三者委員：岡本清治、松 公造

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	4 名	3 名	令和 8 年度 補充 2 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	5 名	0 名	令和 8 年度 補充 2 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもが主体的に行動できるように保育計画や環境づくりを行った。
- 講師の方を招いて 0 歳児～3 歳児までリトミックを取り入れた。また、地域にも開放することで、園庭開放に来られる地域の方が増加した。
- 保育を通してニーズカードに触れる機会を設けることで、子ども・保育教諭・保護者の方のニーズを知るきっかけとなった。
- クラスでの話し合いや思いを出し合う機会を多く取り入れ、クラスの運営や職員間の関係づくりを行った。
- 腰痛ケアとして、月に 1 度マッサージの施術を受けられるようにした。
- 夏季休暇を 3 日から 4 日に増やせたことで、職員の心と体が休めるようになった。
- 子の看護休暇を利用することが定着し、職員が安心して働ける環境づくりに努めた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組方法
保育内容	● 園庭に新しく築山ができ、遊具がリニューアルしたことで、子どもたちがより一層、好きな遊びをみつけることができ楽しめるようになった。 ● 0 歳児～3 歳児まで講師の先生を招いてリトミックを始めた。音を通して遊ぶことで、音を聴くということに興味を示し、楽しんでいた。また、リトミックで遊んだことを保育でも取り入れ保育の内容が充実してきた。 ● ニーズ講師の方に、年長のお子さんと保護者の方にニーズの話を聞く機会を設けたことで、ニーズカードが浸透した。また、子ども同士の気持ちやニーズを知ることが増え、保護者支援にもカードを使うと子どもの理解が以前より深めることができた。 ● 主幹の担当クラスを決め、カリキュラムのことや気になる子どもについて話し合うことを担当主幹と一緒に行うことで、園の大事にしている保育を伝える機会が増え、園全体の子ども理解が深まりつつある。

職員処遇	● 新年度の体制が決まった頃に、主幹が職員全員と面談を行い、不安に感じていることを丁寧に聞き取ることで、職員の動揺や悩みが軽減された。クラスや職員同士の関係性が円滑にいくように、必要に応じて面談を行った。 ● 腰痛ケアとして月に1度マッサージの施術を受けられるようにした。園の空きスペースにウッドハウスを建てたことにより、保育から離れる事ができ、よりリラックスして施術を受けられるようにした。これまではぎっくり腰になる職員が数名いたが、腰痛ケアを行うことで、ぎっくり腰になる職員がいなくなった。 ● 福利厚生として職員と職員の家族が参加できる行事のおもちつき・クリスマス会を開催した。 ● 子の看護休暇の取得率は76.4%で、子育てをしながら安心して働く環境を整えてきた。 ● 今年度の職員の有給休暇取得率は92.4%であった。夏季休暇を1日増やしたことで、職員のリフレッシュ休暇の充実を図ることができた。
地域貢献	● 北桜塚自治会のお餅つきに参加。子ども用の杵と臼の貸し出しを行った。 ● 敬老の集いで年長児が和太鼓、三中フェスタでは年長児の鳴子のダンスを披露し地域の方と交流した。 ● まほろば会（老人会）に土曜日出席している子どもが参加し、地域の方と一緒に手遊びをして楽しんだ。 ● 卒園児で登校の行き渋りの子や発達凸凹で学童保育の集団が苦手な子の息抜き場として、1時間程度園を開放し、保護者の相談を聞く等、卒園児の親子の居場所づくりに努めた。 ● スマイルサポーターが3名常駐しているので、地域の方の相談窓口として努めた。 ● 子育てサークルの内容を充実させ、保護者の方に丁寧に声掛けをすることで、リピートで参加される方が多く新規入所にも繋がった。 ● 赤ちゃんの駅（園庭解放・オムツ交換、授乳室の提供） ● AEDの貸し出し掲示
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は0件でした。

その他特記事項（主な施設整備関係）

- 園庭改良工事（ビオトープ・インクルーシブ）
- 駐車場造成・出入口工事
- ログハウス設置（腰痛ケア・職員相談）
- 太陽光・蓄電池システム（環境・災害対策）
- 監視カメラシステム（経年劣化・増設）

【のばたけ保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月					
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		15		15					
	1歳児	25		25		25		25		25		25					
	2歳児	36		36		36		36		36		36					
小計(0～2歳児)		76	0	76	0	76	0	76	0	76	0	76	0				
2号	3歳児	30		30		30		30		30		30					
	4歳児	30		30		30		30		30		30					
	5歳児	46		46		46		46		46		46					
1号	満3歳児	0		0		0		0		0		0					
	3歳児	4		4		4		4		4		4					
	4歳児	3		3		3		3		3		3					
	5歳児	4		4		4		4		4		4					
小計(3～5歳児)		117	0	117	0	117	0	117	0	117	0	117	0				
合計		193	0	193	0	193	0	193	0	193	0	193	0				

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市内・ 他市 合計	
		市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市	市内	他市				
3号	0歳児	15		15		15		15		14		14		178	0	178	
	1歳児	25		25		25		25		25		25		300	0	300	
	2歳児	36		36		36		36		36		36		432	0	432	
小計(0～2歳児)		76	0	76	0	76	0	76	0	75	0	75	0	910	0	910	
2号	3歳児	30		30		30		30		30		30		360	0	360	2・3号合計
	4歳児	30		30		30		30		30		30		360	0	360	
	5歳児	46		46		46		46		46		46		552	0	552	2,182
1号	満3歳児	0		0		0		0		0		0		0	0	0	1号合計
	3歳児	3		4		4		4		4		4		47	0	47	124
	4歳児	2		3		3		1		1		1		29	0	29	全児月平均 (市内)
	5歳児	4		4		4		4		4		4		48	0	48	116
小計(3～5歳児)		115	0	117	0	117	0	115	0	115	0	115	0	1,396	0	1,396	3歳児以 上の月平均 (市内)
合計		191	0	193	0	193	0	191	0	190	0	190	0	2,306	0	2,306	4

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ 250 名 (9.2%)

職員数：

種別	園長	副園長	主幹 保育教諭	副主幹 保育教諭	保育 教諭	看護師	栄養士	調理員	用務員	事務員
常勤	1名	1名	2名	4名	29名	1名	1名	2名	—	1名
非常勤	—	—	—	—	12名	—	—	5名	2名	1名
合計	1名	1名	2名	4名	41名	1名	1名	7名	2名	2名

学校医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳 鼻 咽 喉 科医	薬剤師	合計
嘱託	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	5 名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	2 名	5 名	令和 8 年度 補充 2 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	4 名	1 名	令和 8 年度 補充 0 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 子どもが主体的に活動できるよう、園内の公開保育を毎月実施し各クラスの環境構成や保育について話し合いを重ね実際の保育や環境に反映できるようにした。
- 後半よりふれあいグループ（異年齢の保育）の活動を増やし、異年齢児とのふれあいや保育を増やしたことで子どもたちにとってもいい刺激になり、成長を感じることができたので来年度も引き続き増やしていきたい。
- インクルーシブ保育会議を月一回実施し、支援の先生が支援児に対する保育の悩みや相談することで保育に活かすことができてよかったが、毎月 1 回のミーティングを取る時間が難しかった。
- 今年度新人研修を行ってはいたが、新人には個別に対応することが多かったため、今年度は新人研修を主幹・副主幹が内容を含めて精査し計画的に実施していこうと考えている。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	● 今年度より乳児クラスよりリズムリトミックの先生にきていただき、取り組んだことで無理なく楽しんでリズムの取り方や体幹を鍛えることができた。保育士も勉強になり、日々の保育にも活化することができ、来年度より幼児クラスも開始し園全体で取り組み、成長を積み重ねられるようにしていきたい。発表会の合奏につなげていければと思っている。 ● 毎月各クラス公開保育を実施したことで、クラスの環境構成や保育の見直しができ、また困っていることだけでなくいい取り組みに対しても褒め合うなど保育士の自信にもつながった。 ● 支援児が増える中、運動会発表会での取り組みをどう行うかなど担任含め職員全体で話し合いをつづけ、子ども自身が考えたり自信を持って取り組んだり発表できる内容を見つけていく努力をしたため、個々の個性が輝ける行事となった。
職員処遇	● 事務時間をしっかりとれるように、表を作り毎月一人一人がどれぐらいとれているかなどを可視化し、取れていないクラスや個人には次の月は重点的にとれるように配慮するなどをした。 ● パートの数が充足しており、有休消化率や看護休暇介護休暇などが取りやすい環境で、職員がリフレッシュして新しい気持ちで保育に取り組んでいた。夏休みを4日にしたが、6・7・8・9月など夏休みのとれる期間を長くしたことでなんとかとることができたが5日は厳しい。 ● 職員人数が多く幼児乳児クラスの職員の交流が少ないのが課題であった。園内の行事や担当行事などで乳児幼児クラスの職員が交流できるように調整したが、まだ十分ではないため今後乳児と幼児クラスが職員が夕方の時間帯交代したり乳児クラスとの交流を増やすなど考えていきたい。 ● R7 年度有給休暇取得率 92.6%

地域貢献	● 以前から交流していたメルシーと合わせて、まごのてあんななど新しい高齢者施設にも足を運ぶ機会を増やし、地域交流に貢献できた。 ● こっこびよびよサークル（0．1歳児サークル）を今年度よりマイ子育て広場に登録したことで、地域の子育て世代多くの方に知っていただけたことで利用者数も確実に増えてきている。 ● インスタグラムも開始し、地域やたくさんの方に園のことを知ってもらうきっかけになればと思い HP 同様に日々更新している。 ● 今年度は実習生に加え、中学校の職業体験の復活や高校生の夢の体験や支援員実習の受け入れなど多くの保育従事者希望者に体験してもらうことができたと思う。 ● 赤ちゃんの駅（おむつ交換・授乳場所の提供） ● スマイルサポーター3名常駐 ● AED の設置および掲示
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は0件でした。

特記事項（施設整備関係）

➤ 園庭遮光ネット工事

【のばたけマミー保育園】

月別利用児童数

年齢区分 (クラス年齢)		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
3号	0歳児	2		2		2		4		4		4	
	1歳児	10		10		10		10		10		10	
	2歳児	8		8		8		8		8		8	
	小計(0～2歳児)	20	0	20	0	20	0	22	0	22	0	22	0
合計		20	0	20	0	20	0	22	0	22	0	22	0

年齢区分 (クラス年齢)		10月		11月		12月		1月		2月		3月		市内 計	他市 計	市 内・ 他市
3号	0歳児	4		5		5		5		5		5		47	0	47
	1歳児	10		9		9		9		9		9		115	0	115
	2歳児	8		8		8		8		8		8		96	0	96
	小計(0～2歳児)	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	258	0	258
合計		22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	22	0	258	0	258

※ 上記のうち保育短時間利用者 延べ 18 名 (14.3%)

職員数：

種別	園長	主任保育士	保育士	看護師	調理員
常勤	1 名	1 名	9 名 (8 名)	1 名	2 名
非常勤	—	—	3 名 (4 名)	—	—
合計	1 名	1 名	12 名	1 名	2 名

※ () 内は年度途中で常勤から非常勤に勤務変更あり

嘱託医：

種別	内科医	歯科医	眼科医	耳鼻咽喉科医	薬剤師	合計
嘱託	1 名	1 名	—	—	—	2 名

第三者委員：安芸 雅美、平川 郁子

職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	1 名	1 名	令和 8 年度 補充 0 名
非常勤職員 (派遣職員除く)	0 名	0 名	令和 8 年度 補充 0 名

本年度重点的に取り組んだ事項

- 今年度も引き続き子ども一人ひとりの成長発達を考え、日々子どもと関わる中で一人ひとりにあった言葉かけや声掛けを重視し保育を行っていった。
- 防災及び危機管理マニュアルを見直し、様々な場面を想定しての訓練を行った。
- ヒヤリハット報告書を見直し、事故を未然に防いだり、必要に応じて改善策を練るなど、情報を全職員で共有し安全対策に努めた
- Instagram を活用して日々の保育の様子やマミマミ（地域子育て支援）について定期的に投稿を行い、園の雰囲気や行事を発信した。
- 保育 ICT チームを作り、豊中市の研修に参加したり他園の利用方法等を学び次年度に向けて導入を進めた。

取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	● 常に子ども一人ひとりの成長発達を考え目的をもって保育及び行事を行った。 ● 発達の子になる子の支援について、職員が学べる機会を作った。よりよい関係作りについての具体的な方法を職員間で共有し保護者にも伝達できるように、学びを継続している。 ● プランターを利用し、様々な菜園活動に取り組んだ。特に玉ねぎやきゅうり、なすび、さつまいも等が豊作で、収穫した野菜を使いクッキングや保育制作に活用し、身近な体験から具体的な食育を学ぶことができた。子ども達が野菜を育て収穫した食材を献立に取り入れることで、食への興味が広がり楽しみに食えることができた。 ● 運動遊びやリズム遊びの外部講師の先生との時間で体を動かすことが楽しいと思えるような経験を増やす機会をもち、基礎体力アップに繋がった。職員の保育実践にもつながっている。
職員処遇	● 積極的に各分野に見合った研修に参加した。園内研修では「職員の資質向上」「不適切保育とは」をテーマに揚げ、職員全員で勉強会に取り組んだ。 ● 保育経験の少ない職員がさまざまな悩みを打ち明けやすいようにメンター制を取り入れて、バックアップに努めた。 ● 計画的に有給休暇を取得できるようにし、職員のリフレッシュにつながっている。今年度の職員の有給休暇の全体取得率は 105.4%であった。

地域貢献	● 異世代交流として、地域の高齢者施設（アクティブライフ豊中）訪問を行い、交流をもつ回数を増やした。 ● 夏まつりは、地域の親子にも呼びかけ、ゲーム等を一緒に楽しむことができた。 ● スマイルサポーター（4名在籍）による育児相談 ● 赤ちゃんの駅（おむつ交換・授乳場所の提供） ● AED の設置および掲示
苦情相談窓口	● 今年度の苦情解決第三者委員への苦情報告は0件でした。

特記事項（施設整備関係）